

平成26年12月14日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙(島根県第2区)

選挙公報

島根県選挙管理委員会

ふるさと再生

～明るい未来へ、思いを強く～

復興担当大臣に就任以来、あらためて「ふるさと」の大切さを実感しました。東日本大震災の被災地では今なお、生まれ育った地に戻れず、姿を変えた風景に心を痛める多くの人々があります。一方で、強い「絆」のもと、助け合い、励まし合い、知恵を出し合いながら、前を向いて生きる人々のたくましさに感動しました。その思いに寄り添い、一日も早く生活基盤はもちろん、「心」の復興が成し遂げられるよう、力を尽くします。

同時に、我がふるさとへの思い、守り抜く使命感を強くしました。私たちが暮らすこの地には、代々受け継がれてきた歴史と文化、美しい風景をはじめ、全国に誇る「地域資源」があります。連続と培ってきた「絆」があり、温かい「心」があります。皆さんの先頭に立って課題に挑み、愛するふるさとを再生させて明るい未来を切り拓きます。

竹下わたる 略歴
 生年月日 昭和21年11月3日生まれ(68歳)
 学歴
 鎌倉市立鎌倉小学校卒業
 出雲市立第一中学校卒業
 慶応義塾高等学校卒業
 慶応義塾大学経済学部卒業
 職歴
 昭和44年4月 日本放送協会(NHK)入社
 ・経済部記者
 ・経済ニュースキャスター
 ・経済ウィークリーキャスター
 昭和60年7月 竹下登秘書
 平成12年6月 衆議院議員初当選
 環境大臣政務官
 財務副大臣
 自由民主党組織運動本部長
 平成26年9月 復興大臣

「地方の再生」

地域資源を生かし、魅力あふれる
人口減少や少子高齢化など、地方を取り巻く課題は深刻です。しかし、地方の再生なくして、日本の再生はありません。今以上に地域資源に磨きをかけ、産業振興に力を注ぐとともに、次代を背負う若者の就労、結婚、子育て環境を充実させます。魅力を高めて都会から人の流れを呼び込み、将来に夢と希望を持てる地域づくりを進めます。

「安全・安心」な

災害に強い国づくり
自然は安らぎを与える反面、時に災害をもたらします。国土と国民の生命・財産を守り、安全・安心に暮らせるよう、必要な策を講じることこそが政治の使命です。社会基盤の老朽化対策と耐震化の加速、津波対策や避難、救援体制の充実、消防団や自主防災組織の強化など、防災・減災施策を強力に推進します。被災地の迅速な復旧にも努めます。

「幸せ」「笑顔」を

もたらす社会保障の充実
少子高齢化が進む島根県にとって、社会保障の制度、施策の充実が欠かせません。子供から高齢者まで誰もが幸せを感じ、笑顔で暮らせることが地域の魅力につながります。医師や看護師、福祉・介護職の人材の確保と養成をはじめ、持続可能な地域医療、福祉を目指すとともに、出産や子育てに対する支援や障害者への支援の強化を進めます。



自民党公認
竹下わたる
68歳

比例代表も
自民党へ

教育の充実

農林水産業の振興

環境保全対策の推進

「竹島」など領有権の確立、維持

高速道路整備の推進

比例代表
選挙では
日本共産党
と書き
ください

消費税10% キッパリ中止!

日本共産党が躍進すれば政治は動く

- ブラック企業**
規制法案提出、厚労省動かす
参院選で議席を倍増させ、議案提案権を得た日本共産党は直後の国会で「ブラック企業規正法案」を提出。厚労省が悪質な企業名公表の通達を出しました。
- 秘密保護法**
国民の願いに応え廃止法案提出
12月10日施行の秘密法。日本共産党は「廃止法案」を提出。国民とともに廃止するために力を尽くします。
- 「政治とカネ」**
清潔な力でハッキリもの言う
原発を推進する自民党。電力労組から多額の献金をもらっている民主党。原発ノ一と言えないのは、原発マネーに汚染されているからです。
日本共産党は、政治をゆがめる企業・団体献金、原発マネーも受け取らない清潔な党だからこそ「原発ゼロ」をハッキリ主張できます。

暴走ストップ! 政治を変えよう

- 政治を変える4つの転換**
 - 消費税** 「消費税に頼らない別の道」を
富裕層と大企業に自分の負担を求めます。
大企業の内部留保を活用し、国民の所得増で税収を増やします。
 - アベノミクス** 「格差拡大」の暴走ストップ
島根再生へ経済をたてなおす
人間らしく働けるルールをつくり出します。
社会保障の連続削減ストップ、くらしを支え、人間としての尊厳を守る社会保障にします。
島根の農林漁業を壊すTPP交渉からの撤退、米価暴落への緊急対策、中小企業を振興します。
 - 原発** 原発再稼働ストップ
「原発ゼロ」の島根を
島根原発の再稼働を許さず、再生可能エネルギーの大幅導入へ転換します。
 - 集団的自衛権** 海外で戦争する国づくり許さない
憲法9条生かした平和外交を
平和外交で、北東アジアの平和と安定を築きます。
米軍の低空飛行訓練を中止させます。

いま、大きな転換期を迎えています。国民の民意に背き、消費税増税、原発再稼働、集団的自衛権行使などの暴走政治を許していいのか、国民の声を生かす新しい政治に切りかえるのか——大きく問われています。

暴走政治ストップの審判をくだし、政治を変える絶好のチャンスです。私は、どの問題でも、国民の立場に立った具体的な対策をせよ、国民のみなさんと共に政治を動かしていきます。

プロフィール
 ■1971年石川県生まれ ■山形大学・大学院修了 ■江津市の漁業勤務、日本民主青年同盟県委員長など歴任 ■現在、日本共産党西部地区副委員長 ■趣味はスキー、バイク。
 URL <http://jcp-shimane.jp/>



日本共産党
むろせ慎一

暮らしと雇用を立て直します

山本ほまるのあゆみ
 1957年 8月1日生まれ(57歳)
 1976年 県立江津高校卒業
 1977年 日本国有鉄道 浜田保線区へ入職
 1998年 江津市議会議員初当選
 以後5期連続当選
 現 在 社民党島根県連合2区支部連合代表
 社民党島根県連合副代表
 社民党江津総支部代表
 三江線を守る会会長

比例代表選挙では…
社会民主党へ

平和憲法を守り、格差の拡大の解消
 憲法は、すべての国民に健康で文化的な生活を保障しています。しかし、現実には、格差が拡大し、年収二百万円以下の人がここ数年で五〇万人以上増加し、非正規労働者数は一九五〇万人に達しています。格差拡大に歯止めをかけるのが政治の役割です。

戦争をする国にさせない
 集団的自衛権の行使容認は、日本を戦争の出来る国にすることです。沖縄・辺野古への新基地建設を許さず、市民の権利を奪う特定秘密保護法の廃止を求めます。

脱原発社会の実現
 福島原発事故の教訓を踏まえ、子どもたちの未来のために脱原発社会を実現します。島根原発一号機は早期に廃炉にし、二号機の再稼働は認めず、三号機建設も中止します。

子育て・医療・介護の抜本的改革
 人口減少、少子高齢化が言われる中、子育てや医療・介護の抜本的改革を進めることが急がれます。誰でも安心して利用できる介護施設の充実や医療過疎の解消に努めます。

疲弊する地域経済を立て直し
 一部の企業や株式で利益をあげている人はアベノミクスで恩恵を受けていますが、地方に暮らす私たちの生活は一向に良くなりません。アベノミクスの失敗は明らかです。農林水産業を衰退させるTPPへの参加に反対します。



社会民主党公認
山本ほまる
57歳

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版により印刷したものです。)

衆議院議員総選挙 最高裁判所裁判官国民審査

投票日は12月14日(日)

投票は3種類

■衆議院議員総選挙

●小選挙区選挙の投票

候補者の氏名を書いてください。

●比例代表選挙の投票

政党の名称又は略称を書いてください。

■最高裁判所裁判官国民審査

●国民審査の投票

やめさせた方がよいと思う裁判官については、その氏名の上の欄に×を書いてください。

やめさせなくてよいと思う裁判官については、何も書かないでください。